

令和4年度 当初予算要求事業内容説明書

2款 3項 1目

第5章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち(市民参加・自治体運営)

基本施策5 行財政運営

施策4 行政手続の簡素化と利便性の向上を図ります

【会計】一般会計

2款:総務費 3項:戸籍住民基本台帳費 1目:戸籍住民基本台帳費

事業	58	戸籍電算システム整備事業
担当所属	市民課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
26,333千円	26,333千円				

【事業の概要】

事業の概要	戸籍法の一部改正に伴い、戸籍電算システムの改修等を行います。
事業の目的	戸籍電算システムによる安定した戸籍管理と厳密な個人情報の管理とともに、事務処理の迅速性・正確性及び関連事務との整合性を確保し、窓口におけるサービスの向上と事務の効率化を図ります。
事業の効果	システム導入により、戸籍諸証明の発行時間が短縮され、住民サービスの向上につながります。また、誤記や重複記載の解消及び事務処理時間の短縮など、行政コストの削減に寄与します。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
10 需用費		
消耗品費	547千円	事業用消耗品
11 役務費		
手数料	1,980千円	クラウドサービス利用料
12 委託料		
住民基本台帳ネットワークシステム改修委託料	11,735千円	戸籍システム改修、機器購入等
13 使用料及び賃借料		
機器賃借料	12,071千円	戸籍電算システムに係る機器等賃借料
計	26,333千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和4年度計画値
戸籍電算システムを利用して処理する届出件数	7,000
戸籍電算システムによる戸籍情報保有件数	57,500